

- 活動マニュアル編 -

1 自主防災組織とは ～地域の連帯感が被害を防ぐ大きな力に～

平成 15 年 5 月 26 日に発生した三陸南地震では、岩手県内でも震度 6 弱を記録し、負傷者 91 名、住家被害 1,195 棟（H15.6.20 現在）など大きな被害をもたらしました。

また、国の調査により宮城県沖地震が高い確率で発生するとの評価がなされています。

災害から自分や家族の命を守るためには、災害発生に備え普段から十分な対策を講じておくことが必要です。

災害が発生した場合には、防災関係機関が総力をあげて防災活動に取り組みますが、大きな災害になるほど、道路の寸断や同時多発火災など被害は多種多様にわたり、関係機関のみの活動では、十分に対処出来ないことが考えられます。災害の拡大を防ぐには、**自分や家族の力だけでは限界があり**、不安や混乱をまねき、危険を伴う場合があります。そんな時に、**隣近所の人達が集まって、お互いに協力しながら**初動時の防災活動に組織的に取り組むことが大きな力となります。

災害発生時はもちろん、日頃から地域の皆さんと一緒に防災活動に取り組むための組織を「自主防災組織」といいます。



自分の地域に自主防災組織があるの？

町内会や自治会等の代表者にきいてみるといいでしょう。

それでもわからないときは、市町村の防災担当課に確認します。



自分の地域には、自主防災組織がない・・・ 新たに結成するのは大変だ・・・

地域の普段の活動としてこんなことを行っていませんか？

- ・ 町内会での消火器の点検、交換、消火訓練。
- ・ 回覧板での防火・防災のお知らせ。
- ・ 地域での夜回りなど。

このようなことを町内会や自治会などの活動の一環として行われているのであれば、それが自主防災活動です。

ここから組織の結成へとつなげていくと良いでしょう。